

第4章 町民の意識

本町がめざすべき将来像を描くには、住民のニーズ等を把握することが不可欠であることから、「第5次矢祭町総合計画」及び「矢祭町総合戦略」の策定に当たり、まちづくりに関する「中学生アンケート調査」及び「町民アンケート調査」を実施しました。

本調査の配布・回収状況は以下の通りです。

<中学生アンケート調査>

項目		内容
配布対象者		矢祭中学校2年生及び3年生
実施時期		平成27年6月
配布・回収状況	配布数	96票
	総回収数	95票
	回収率	98.95%
	内、有効票	95票

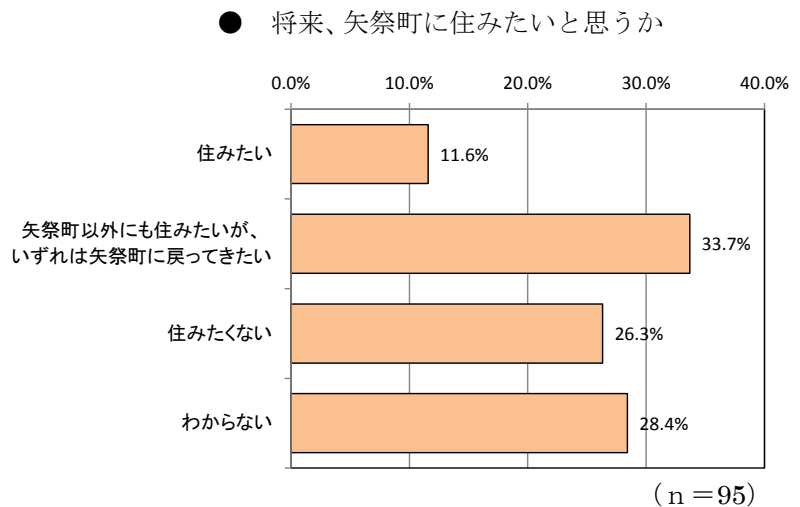
<町民アンケート調査>

項目		内容
配布対象者		町内在住の16歳以上75歳未満の方
実施時期		平成27年8月
配布・回収状況	配布数	1,781票
	総回収数	841票
	回収率	47.2%
	内、有効票	841票

1 中学生の意識

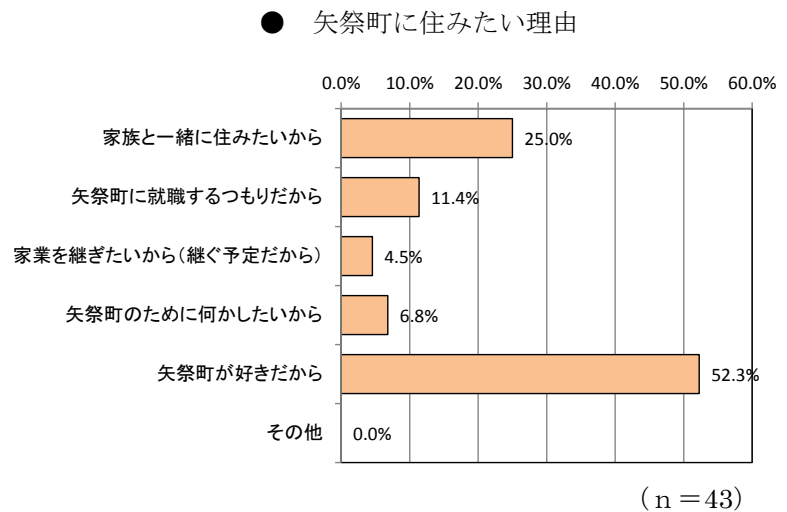
①定住意向について

「住みたい」と「矢祭町以外にも住みたいが、いずれは矢祭町に戻ってきたい」を合わせた『(いずれ) 住みたい』が45.3% (43人) となっており、「住みたくない」と回答した26.3% (25人) を上回っています。



②矢祭町に住みたい理由

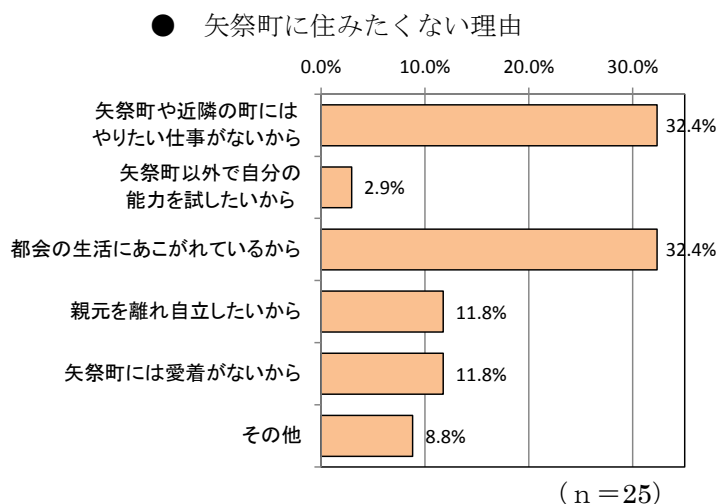
『(いずれ) 住みたい』と回答した43人について、その理由をみると、「矢祭町が好きだから」という回答が52.3% (23人) と最も多く、次いで「家族と一緒に住みたいから」が25.0% (11人) となっています。



③矢祭町に住みたくない理由

「住みたくない」と回答した25人について、その理由をみると、「矢祭町や近隣の町にはやりたい仕事がないから」「都会の生活にあこがれているから」がそれぞれ32.4%（11人）と最も多くなっています。

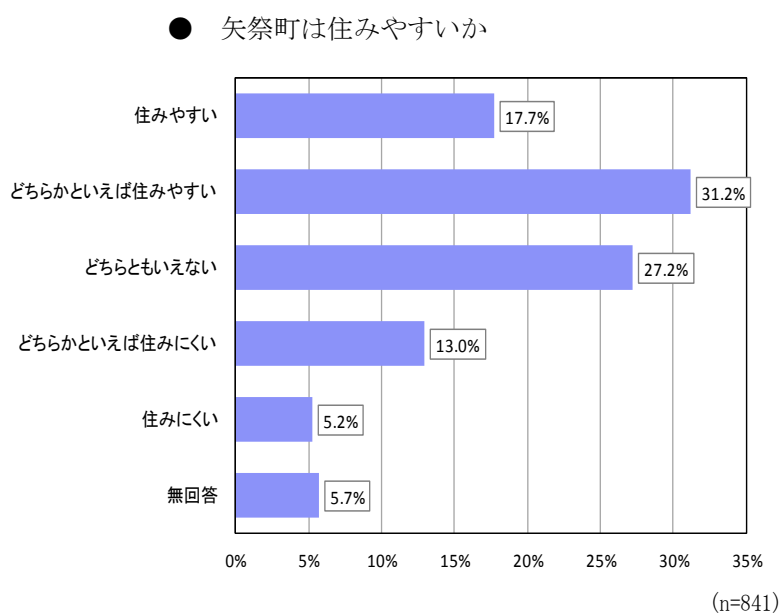
若者の定住促進の観点から、雇用の場の拡充が求められます。



2 町民の意識

①矢祭町の住みやすさ

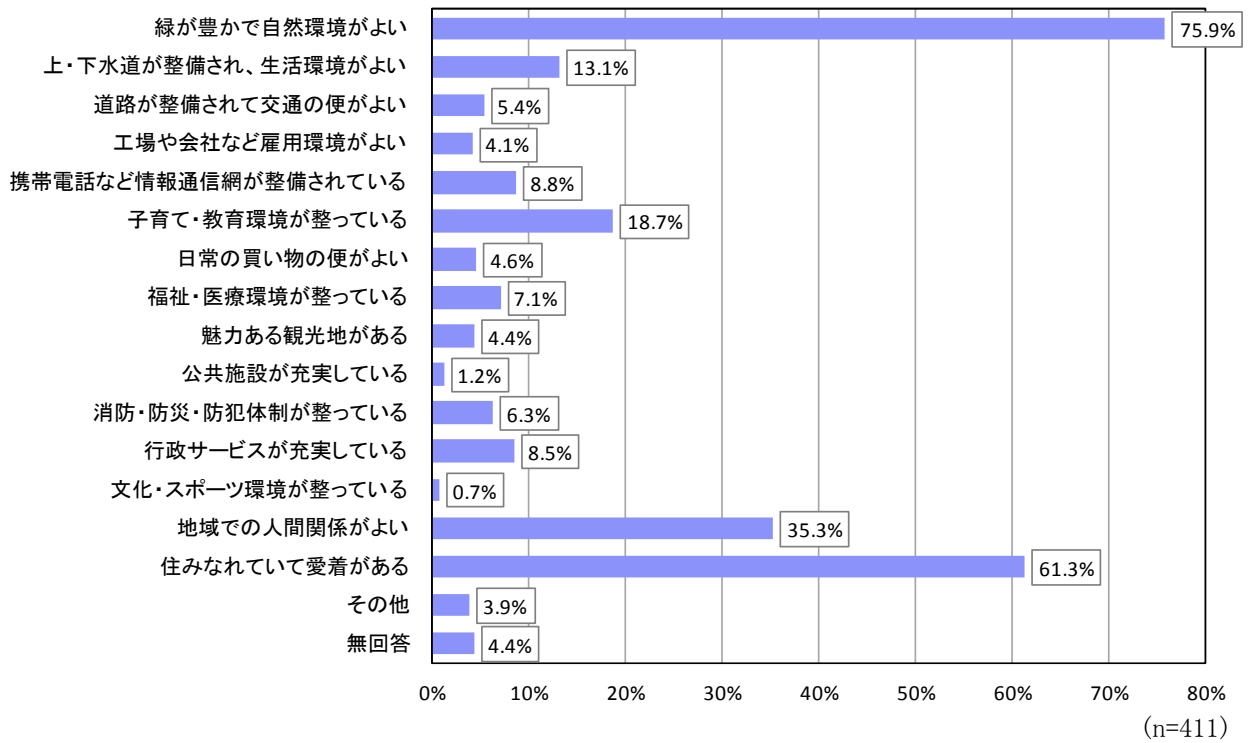
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が48.9%（411人）となっており、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』の18.2%（153人）を大きく上回っています。



②矢祭町に住みやすい理由

「緑が豊かで自然環境がよい」が75.9%（312人）と最も多く、次いで「住みなれていて愛着がある」が61.3%（252人）、「地域での人間関係がよい」が35.3%（145人）となっています。

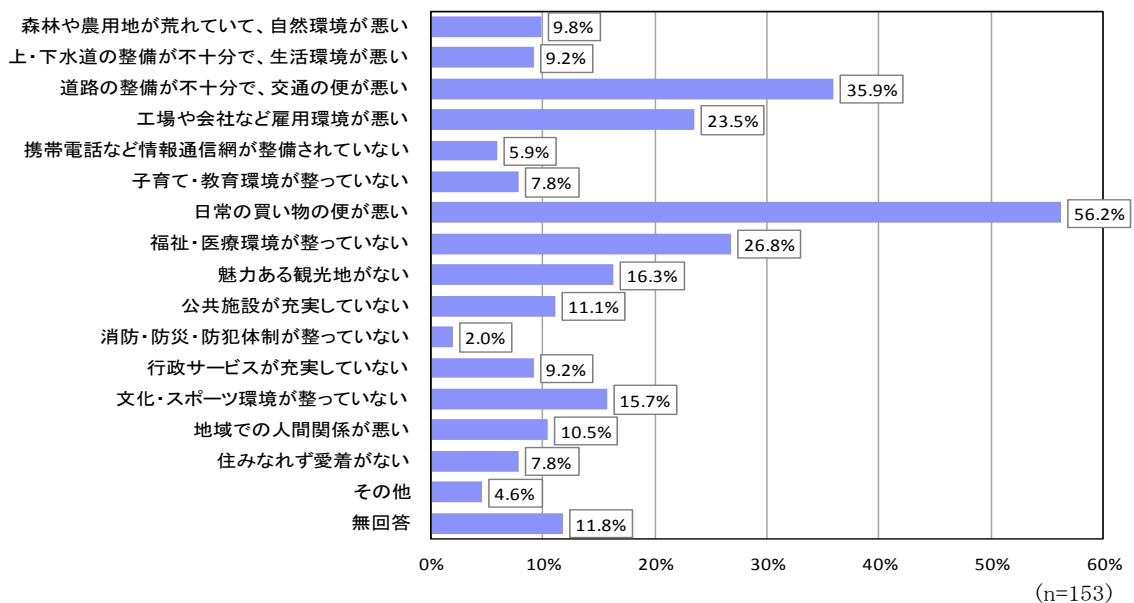
● 矢祭町に住みやすい理由



③矢祭町に住みにくい理由

「日常の買い物の便が悪い」が56.2%（86人）と最も多く、次いで「道路の整備が不十分で、交通の便が悪い」が35.9%（55人）、「福祉・医療環境が整っていない」が26.8%（41人）となっています。

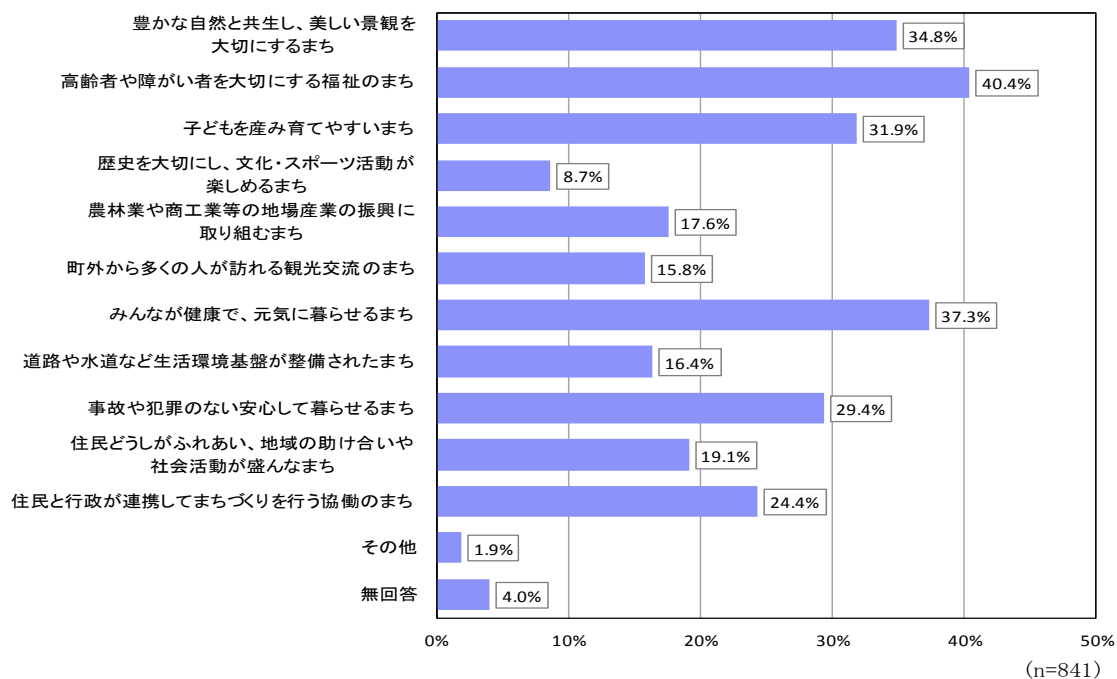
● 矢祭町に住みにくい理由



④矢祭町の将来像

「高齢者や障がい者を大切にする福祉のまち」が40.4%（340人）と最も多く、次いで「みんなが健康で、元気に暮らせるまち」が37.3%（314人）、「豊かな自然と共生し、美しい景観を大切にするまち」が34.8%（293人）となっています。

● 矢祭町の将来像



以上のアンケート結果からは、豊かな自然を活かしながら、交通利便性の向上や商店街の活性化等地域の商店の維持・増加や医療・福祉の充実を進めることが求められています。第5次総合計画策定における町全体として目指すべき目標となります。